水産試験場職員費 内海の調査船整備費 日本海の試験調査船建造

六六〇万円

四四五二万円

|ているが、その第一着手と 一が緊要として、本年度から

して水産試験場が取上げら

とくに、その充実が図られ

3 ズワイガニ資源調査

る漁海況予報事業の実施 等の回遊水族を対象とす アジ、サバ、スルメイカ 日本海におけるイワシ、

試験研究の充実を図ること

農林水産業の振興には、

普及指導費 試験研究暨 維持運営寄

一一万円

〇三二万円

く痛感する。

六五九万円

れていたことは、われわれ

ワイガニ漁業の企業化試 ズワイガニの移動及び資

ては御承知のとおり多年の

| 員の関係できわめて不十分 | 度成長を続けている近代産 | す。

大のねらいとなっておりま

七年度に本県海面漁業の構

柄、性別、年令を住民

世帯員の氏名、続

登録から転記……市町

本調査は、去る昭和三十

目

的

全県下に亘って調査作成し 造改善を推進するに当り、

ウ

世帯員の就業状況、

源量の調査並びにベニズ

の責務の重大さを今更の如

があった如く、

水産関係総予第五億三千四百余万円の内、

水産試験場予算

(1)的な水産試験場として完成 試験場で研究が可能となろ される筈で、米年度から新 とくらべものにならぬ近代 等が次年度以降に残される 飼育施設の一部と研修施設 本年度中に現在の施設

びその季節的移動状況調

|新しい試験に努力したいと

査、省力化試験、深海漁一考えている。更に但馬沿岸

の運営費ということになる 億五千二百五十四万円に達 しており、その残りの六千 一百五十万円が水産試験場 明石本場の移転改築は、

ということで、整備費が二 | 年並であるため、新しい研 るので、試験研究予算は前 これをフルに生かして仕事 進めてゆきたい。 飛躍を期して地道に研究を 究はできないが、来年度の を進めてゆく。 本年度試験研究費 約一千万円

を設備の充実に指向してい の如くである。 -日本海底曳漁場振興調査 本年度予算は、その重点 その内容次 一名。新船は底曳方法として十一月から初めることにな が、本年新試験船をもって ないが、本年末から来年に 験の段階をでないかも知れ る。本年度は試験期間が五 のではないかと期待してい に新しい方式をもちこめる するので、但馬の底曳漁法 おり、ロープはリール捲と ともあげ式の方法をとって 中止をしていた試験である かけて、新船を利用して、 カ月しかないので、予備試 この1と3はこの二年間 CODについて 0 CODは日本語では化学的

酸素要求量といわれるが、非 常に長くややこしいので、普 通にはCOD(シーオーディ –) という記号で表わされて いる。

CODとは水中の酸化されやすい物質 を酸化剤により化学的に酸化した時に消 **費された酸素の量をPPM(ピーピーエ** ムといい、単位を表わす記号で1PPM とは100万分の1であることを示す) したものである。いいかえれば、水中に ある物質で酸素をとりやすい物質がどの 位あるかを実験室で分析して、その量を 知るために水質調査を行なう時に調査項 つとしてしばしば用いられる。即 ちCODの数値は、その水質の良否を判 断するための一つの目安となるもので、 数値が高いのは水質がよくないことを示 普通海域ではCODのみについてみ 3~4PPM以下であれば汚濁さ れていないものと考えられる

昨年8月大阪湾調査時のCODは次の うになっている。海水が始んど汚れて ないと思われる洲本神では1.84PPMで あるが、神崎川の河口海域では10.37 P 20 PM (いずれも表層の水) となり。 地点は汚濁されていることがわかる

卸小売業に従事する世帯は に被傭世帯但し、内水面漁 業及び内水面養殖並びに 兵庫県に在住するすべて

握し、今後の漁業施策の基 本資料に供するものである 漁獲物の ならび (3)

るもので、本県漁業の実態 在)として作成しようとす 〇・一現在) の第二次台帳 た漁家台帳(昭和三六・一

、 年間収入状況記入:

上記イ、ウ項の点検

分析取まとめは、

により行ない、 …戸別調査又は漁協

課で総括する。

(昭和四一・一二・三一現

記入……漁協 住家、漁獲金額状況の 從事漁業、漁船、

とその動向変化を適確に把

当 部 局 誷 地 担 査 対 象 X 尼崎市・西宮市・芦屋市・播磨町・ 本庁水産課・水試 加古川市・相生市・家島町 農林事務所 淡路沿海市町 · 但馬沿海市町 神戸市・明石市・高砂市・姫路市・ 御津町・赤穂市

昭和42年度

験場

を重点的に実施し、データ

8 浅海增養殖基礎試験

く、タコにしろ魚類にしろ 研究であるので、何とか早

有用水族の生態に関する

ってゆきたいが、稚仔期の 一つでも種苗の量産化にも

井 沢

水産関係の本年度の予算について本紙四月号で、森本水産課長から紹介 夫

調査を山口、鳥根等の各県 と考えている。 の生態と資源をつかみたい と共同で行なってイロイカ ているイロイカについての 本的の重要な対象になっ

2漁況海況予報事業(日本

洿

五百万円の内訳は

(一二〇トン、五〇〇馬力

また日本海の試験調査船

場開発試験

水産試験場予算三億一千

明石本場移転改築賢

八〇九四万円

ることとなろう は但馬の海で試験に活躍す 一) は既に発註済で十一月に

4瀬戸内海重要水族環境調 イワシ、イカナゴについ 況を連報子報する事業。 ラ等を対象にして漁況海 イワシ、イカナゴ、サワ 筄

ドジョウの増殖技術の研 スジエビの種苗生産試験

本県においては、施設、人 淡水関係の試験研究は、 この補足整備計画は、高

コイ、フナの種苗育成配 なりました。

ろな調査を実施することに しい社会情勢の変化に対応 に、前回と同じく、いろい できるようにすることが最

一をお願いいたします。

みなさん方の格段のご協力 漁業者ならびに関係者の (県水産課振興係)

要領で漁家台帳を作成する

一海面漁家を対象にして次の 県では五月から全県下の 以上の趣旨にもとづいて (1) (2) 世帯員の就業状況 並びに世帯の性格区分

台帳は、県職員又は県 戸別の聞取により作成 合の協力を得て、世帯 り、市町、漁業協同組 嘱託員が担当 者 とな

調査日は、昭和四十一年十 内容の日本とする。 世帯としての専兼状況

12漁場環境保全対策調査 とれは所謂公害対策調査 与える影響並びに被害調 工場廃水等の水産生物に の研究を実施し、本年は くされ」の防除についてノリの病害、とくに「赤 野外実験にもってゆきた

の二年間の成績で内海で養 台帳は、昭和四十二年十月 三十日までに作成する。

コンプ養殖試験 人工魚礁調査 ワカメ養殖試験 小型底曳省力化試験

コンブ養殖は、昨年まで

13 そ の

ければならぬと覚悟をして ×

県漁連三浦会長 5 月号 No. 128

얜 行 兵庫県漁業協同組合連合会 共和原原縣 屬向組合型合金 東和県水産業改良普及協会 神戸市兵印区新在家町 1 発行人 三浦 清 太 15 TEL 67 6685 · 68 6954 編 集 拓水編集委員会 発行日 毎月 30日

-部10円 昭和32年10月18日 第3種郵便物認可

おけるその入込み、産卵、 てきているが、なお内海に **川度も大きいが、更に漁況** るようになり、漁業者の利 予報は相当高い精度を有す ない。本年もサワラの調査 成育の生態が不明の点が多 において、サワラを取上げ 予報の範囲を広くする意味 予報の段階に歪ってい | 化の試験を実施することに |あったが、一昨年から釣餌 している。 規模は大きくないが、量産 見透しを得たので、本年は たところ、昨年種苗生産の |の研究を予備的に初めてい 用スジェビの人工ふ化飼育 場の完成を期待しつつ、研 産配布におわれているので

究を進めてゆく。

9浅海増發技術開発事業

(2)魚類種苗生産試験(1)マダコ種苗生産試験 栽培漁業に直結している

11ノリ薙殖試験

十分であるが、新しい試験 ので、現在は研究設備は不

みたいと思っている。 できる休制にはやくもちこ -の集積に努力して予報の の委託を受けて実施して これらは国の水産研究所 日本海底魚資源調查 日本海沿岸重要資源調査 |業の発展に伴なって魚病の|しい設備(水温の制御、 取組むようにしたい。養殖 くに魚病の研究に本格的に の魚病に関する研究 この項目では本年からと 基礎試験、タコ、ハマチ

しい設備(水温の制御、海

して活路を見出したいと考

ない。本年度も更に努力を

餌料の問題でなかなか進ま

0水産加工試験指導 いる基礎的資源調査であ

漁家台帳の調査に

つい

これびとえに関係の皆様方の御支援の賜とまことに感謝のほかない次第で 三億一千五百万円という、水産試験場にとっては未曽有の予算となった。

についての各種試験を実 の包装の研究、更にワカ 冷凍法の再吟味と凍結品 冷蔵冷凍中の魚体製品の メ加工、乾燥機利用加工 理化学的変化の研究及び 昭和三十六年度から始め | 業徒事者と漁業者の所得格 |

一淡水增養殖試験指導 |の実施期間を終えて、昭和 代化促進対策事業は四カ年 善対策事業のうち、経営近 られていた沿岸漁業構造改

後の社会経済的な変化に応 その差を埋めるため、その 売は仲々縮まらないので、

| 足整備計画をたてるため この構造改善事業の一環と昭和四十二年度からは、 四十一年度で一応終了しま して沿岸漁業経営近代化補 い施策を講じようとするも じた調査にもとづき、新し のです。

|期間が一カ年となっており 間じものでありますが、新 一次の構造改善のときにほぼ ます。事業の内容は、第一 綢査期間一年、事業実施

台帳の作成は、原則と して次の順序で行なう 対象の世帯の決定及

主の記入……漁協 び住民登録による世帯

ワシ、イカナゴについての|であって、コイフナ種苗生|発生は年! でなってくる | 水の大量使用)の完成がま | であるが件数の増し、人員 くるための基礎試験であ **養殖魚類の人工餌料をつ** 調査には相当な努力をしな 直接につながるので、この ある。しかし漁民の利害に の不足で水試では最もその

10工餌料開発試験

|たれるや切である。

処理に困却している事項で | に普及されるのではないか 一と期待している。 |殖可能なる見込みがつき、

|皆様のほんとの要望に沿っ | 本年の成績によっては大い の大要を記したが、漁民の のない御批判と御叱声をお うる課題を取上げているつ 考え、またわれわれにでき もりであるが、どうか遠慮 たものでないかも 知 れ な 以上、本年度の試験計画 本県水産業の行くてを

4~5月の漁海況 (内海側)

拓

海

4月に入って連日雨天がつづき、20日間のうち、快晴の日はわずか2日、降雨日数は16 日を数え,降雨畳も197.6mmで例年量 (月計110.4mm) の 1.8倍に達した。このような4月 参雨の年は、最近20年間のうちで、昭和27年(233.2mm)と昭和33年(172.2mm)に記録さ れている。

このため、4月は水温の上昇が速くなる時期であるが、大阪湾、播磨灘ともに4月中の 昇温は中旬までほとんどみとめられず、下旬にはやや回復したもの、月平均では例年より 1.0°C低目を示し、5月上旬には大阪湾で15~16°C、播 磨 灘 では14~15°Cとなる見込

一方、両海域の塩素量は、北部沿岸浅部では大巾に低下しているが、中部以南では例年

また、普通4月の水温上昇期には、まず植物プランクトンが増量し、その後動物プラン クトンが増加する経緯をたどるが、今年はまだ冬期出現する動物プランクトンが目立ち、 しかも、イカナゴ当才魚の餌料として不適な種類が3月中旬~4月中旬にかけて大量発生 した。しかし4月中旬以降急減している。

以上を総合すると、4月~5月上旬の大阪湾、播磨灘の水塊は、その諸性状において隣 接外洋系水と明確に区別され連続性がみとめられない。例年と比較して全般的に低温低敏 型といえる。4月下旬以降の天候回復が順調であれば、大阪湾では現在の低温傾向は比较 的早く回復するが、播磨灘のうち、北部域では、低温低敏傾向はやや長びくものと思われ る。

'漁

イカナゴー今年当才魚(シンコ)の成長は、4月中ごく緩漫であった。これは前述の海 況や、不適何料の発生増量によると考えられるが、一方では、産卵期が例年より長引き、 後期発生群が漁獲の主体となっているためでもある。図に、4月中旬の当才魚の休長組成 を示した。昨年12月にうまれた前期発生群は、すでに65~85mmに成長しているが、その数 _ 量は少なく,今年1月中にうまれた後期発生群は45~65mmに成長し,漁獲の主体象群とな っている。

今年当才魚の漁況は例年量を1~2割上廻るものと予測されたが、4月多雨によって成 長不良、不適餌料による品質低下、および加工上の制約など需要度の低下のため、出漁日 数も少なく十分な漁獲をあげていない。

しかし、今年の当才魚の現存量は例年よりやや多いと推定されるので、今後の水温上昇 と成長にともない、親魚(フルセ)と交替して瀬付群となるころ(5月中旬~6月上旬) には60~75㎜のものが多獲できそうである。

カタクチイワシ

一昭和35年以降、瀬戸内海東部におけるカタクチイワシの発生量、米遊量は漸減傾向を 示していたが、昨年からやや上向きの氷がみとめられる。

4~5月は、主に産卵群の出現時期に当たるが、現在(4月下旬)の海況が隣接外洋系 水と大きく異なるため、淡路島中部以南で停滯し、北部沿岸への来遊は例年より1旬程度 おくれる模様。しかし、産卵群および外海春季発生群(シラス)の来遊量は昨年と大差な いものと思われる。

一次芽網は芽が小さすぎた

海岸にて天日乾燥

張込後の成績をみると、

っ戸 類た で

淡路町の四地区に配

かく健康な芽であったとい染ったのは一〇%位。とに

漬けて調べたところ、 断をエリスロシン染色液に 十三日。前日に芽の健康診 余り背殺しを行なっている 理しており、この間、三回

度(マイナス)、平均二二

冷蔵温度は、

应

「小型船舶操縦士」の免許を取ろう

最近の漁業者のみなさんの勉強熱は大したものだ。その一つの現われとして「小型船舶操縦士」 **の免許を希望する人が激増していることがあげられる。これは以前から水試の主催、またはその音** 頭とりで県下各地で講習会が開かれてきたが、過去1カ年の成績を見ても、次のごとき多数の取得 者を出している。

> 41年 6月 家 岛 93 地 名 8月 仴 馬 坳 区 25 名 42年 1月 淡 路 4月明石地区 31 名 4 A 窩 砂 15 計 247 夂

これは船を大きくした人はもちろんだが (総トン数5トン以上であれば船舶職員法が適用され必 要),そうでない人,つまり釣客を乗せる人,またはこれくらいの知識は知っておいて決して損に はならないと思う人、それよりむしろ海で働らく者には常識としても絶対必要と考える人などそれ ぞれであるが、いずれにしても勉強しようという意欲は大したもので、世話役の水試でも大いにや り甲斐のある仕事だといっている。

講習は大体一週間程度で十分だし、もし希望があれば出来るだけ早い目に水試(指導課)に申し 出て指示を受けるとよい。その上受講生が50~60人以上の多数になれば、現地で試験をしてもらえ る手もあり、これなら1~2日間で試験がすみ極めて好都合である。クラブ活動の一つとしても御 一考ありたい。

参考までに受験資格や最近の試験問題などをお知らせしておこう。

(小型船舶操縦士試験)

船舶職員法抜萃 —

試験開始期日の前日までに、17才9か月に達する者で、船舶に1年以上乗船履歴を有する者。 (ただし、この乗船履歴には試験開始期日の前5年以内のものが含まれていなければならない。)

身体検査基準

(1) 视

5メートルの距離で、一眼は0.5以上、他眼は0.4以上。

(2) 紅緑色盲または青黄色盲でないこと。

効果としては、 化されつつある。

両耳ともに30センチメートル以上の距離で明らかに秒時計の秒時音をききとることができる こと、または5メートル以上の距離で囁語(ささやく言葉)を弁別できること。

その他疾病または身体障害があっても軽症で勤務に支障をきたさないと認められること。

学 科 試 除

冷蔵し、

県内各試験地に配

月上旬に愛知から移入した

入を図る目的で、県では昨

このような先進技術の導

たずねてみた。

芽の大きさ!二~五糎

冷蔵したノリ網は、

くなった。

ころ、乾燥がもどり丁度よ

ができる。

安定なり向上を考えること

有効利用ができて、

生産の

高浜光治氏)の状況を、明

代表

も早く二時間余りで干し上

石市農水産課の平川さんに 殖グループ (四五名、 をあげた林崎漁協・海峇養 三千枚、平均二千枚の収獲

したが、冷蔵前に、 がり、やや乾き過ぎを心配

″カゲ

などが期待され、 抑制場が整理できる 病害時の替網確保

布する計画を試みてきた。 年来、種網と二次芽網とを

種網の管理と、二次芽ど

伸びるまで、べた流しで管 秋芽網で、芽が三~五糎に

入れ、袋口を固く密封して

冷蔵用ポリ袋に網一 零下二二度で冷蔵

本年二月九日。 十二月下旬に冷蔵。出庫は りを須磨浦研究会が行ない

林崎の種網

冷蔵した時期は十一月二

(三~五糎芽) と須磨浦の

一次芽網(五種芽)の二種

筆記試験で2時間。出題される問題が100 題あまり決まっており、そのなかから10間がえらばれ 合格は大体65点~70点以上とる必要があるようだ。

> 以下に急冷後冷蔵しておく 容器に密封後、零下二〇度 三〇%に乾燥し、

芽付が濃く、

(詳しくは「海苔網冷蔵の

防ぐために、含水率二〇~

袋などの

介すると、ノリ芽の凍死を

網であれば、 をあげている。

冷蔵方法のあらましを紹

いう新技術である。 何時でも、出して張れると (杉本)

IJ 網

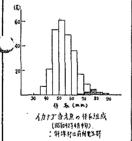
の

の冷蔵に

先進技術導入試験結果

話題になっている

種網では、



風状態、朝八 暗で始んど無 は二一度、気

をとりあげ 時ごろから網 当日の水温

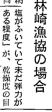
中に強ければ一〇分位で解問、現場で開封し、静かに海防波棚漁場へは船で五分 になるが、 凍できる。 一あがった網の後へ、べた流 しで張込んで行った。 でも五日と要しなかった。 張込後の状態と摘採 張込後一潮位で軍 想像以上に早く 葉先が一部橙色 悪いもの

較的少なかったといえる。 〃 に一時間程おいていたと 一枚を 득 回摘採した。品質も良く、 とが感じられる。 功した要因として、 心配されていたが、 なかった。 るようになり、 行なえたこと。 を冷蔵したこと。 ノリ芽が伸びるまで色々 条件がよかったこと。 温度変化が少なく冷蔵 短時間に適度の乾燥が 芽付が濃く、 三回から四 健康な芽 百%成 次のこ

組合冷蔵庫に収容した。

入

の冷凍パンに入れて積み重



試験的に六〇枚の冷蔵網

冷蔵網が成功した

三十八年に愛知県で成功し

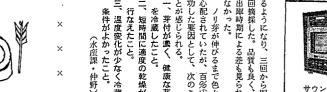
全国各地にて実用

冷凍網の

腐れの対策として、昭和

されに犯されていないノリ 小さいものより三~五糎、 わけである。芽の大きさは そうして、く し養殖地では、 成功している。

成り立つことが立証された り、予想した以上の好結果|枚から二千枚の収 獲 が あ 三~四回摘採でき、千五百 結果的にみて、良い冷蔵 充分経済的に 各地区とも を図るため、真剣に導入が |では組合冷蔵庫を利用して 網を愛知から購入し、林崎た。須磨浦は数百枚の冷蔵 |部では試験的に行なわ 冷蔵網の関心が高まってい とが、 |を冷蔵用に多量確保するこ 県下の主な養殖地では、 すでに高砂、 今後の課題ともいえ とくに浮流





安にされているが、

天気が

良かったため、

思ったより

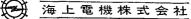
新鋭機出現

周 波 2 魚群探知機

本 社 神戸営業所



画期的な漁業用魚探機



東京都千代田区神田協町1~19 電話 東京 (291)2611~3・8181~3 神戸市生田区明石町32(明海ビル) 電話 (39)4301代・(33)3706 ビル交換



拓

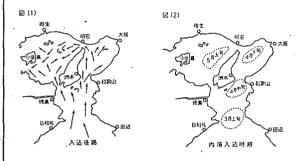
資材一また両階層いづれも上廻っ

ほ

(3)

普通一般にサワラと呼ばれているものは本州南部(主として瀬 戸 内 海), 中国北部沿岸に多く、遠く台湾、濠州にまで分布している。ほかに「カマス **サワラ」(オキサ**フラ),「ヨコシマサワラ」「ウシサワラ」などがあるが,こ れらは千葉県以南の太平洋、南支那海、印度洋において、マグロ延糧漁業の副産 物として漁獲されるもので、内海ではほとんどみることがない。さて、 とれるサワラはこれらのなかでも特に美味で関東では若年魚を「サゴチ」、関西 では「サゴシ」と普通呼んでいる。分類上,水武ではそれらの幼,稚魚を次の五 段階にわけて呼ぶことにしている。モバコ (体長10cm以下), サキ (体長10~30 cm) サゴシ (体重800~1,200g) ヤナギ (体重1,200~1,800g) サワラ

瀬戸内のサワラは春期水温上昇と共に産卵のため入り込み、秋期水温下降と共 に外海へ逸脱する回遊魚族で、大別して紀伊水道系と豊後水道系にわけられ、双 方共に春期北上、秋期南下を行なう。大阪湾、播磨灘への回遊時期は年によって 多少の変化はあるが、図(1)(2)のように播磨灘中部に来遊するものについては、次 ケ島水道経由のものが鳴門経由のものより量的にはるかに多く,また時期的にも 早いようである。5月中旬から6月上旬頃の間に、淡路江井~淡に至る25~30m など深線附近で産卵し、数日で孵化、7月上旬頃には体長4~6㎝内外の「モバ コ」が出現する。



漁期は春,秋の双峰型で,春5~6月の播磨灘南西部での流刺網漁,秋9~11 月の鹿の瀬周辺、大阪湾北部での底曳、縄漁、冬期12~1月の南下群を対象とし た友ケ島、鳴門南部域の曳縄漁、などで主に漁獲される。ここでちよっと今年の 予測を立ててみることにしよう。

※入込時期について

昭和39年より黒潮本流の蛇行が大きく変動し潮岬への接岸 傾向が強くあらわ れ、したがってそれに伴なう紀南分枝流の大阪湾への圧入が目立ち、ここ数年紀 伊水道北部における3~5月の水温は2~3°Cと高目に推移し,特に, 本年3月 の海洋観測結果では、昨年の4月に形成された水温分布をすでに形成し、 みがかなり早くなるのではないかと考えられたが、4月に入り例年をはるかに上 回るいわゆる「なたね梅雨」と称する連日の降雨に見舞われ晴天日も数日を数え たのみで、大阪湾、播磨灘への河川水の流入勢力が極めて強く、したがって内海 冷水の外海張り出しも強く、外海暖水の影響による昇温がにぶり、この状態が4 月下旬まで続けば鳴門南部~友ケ島南部海域での滞在が長く続き内海到達がやや おくれるではないかと見ている。

※漁況について

以上のような見透しから5月10日頃から盛漁期に入り、5月14日~20日の間。 5月28日~6月3日の間くらいに好漁が期待できそうである。 (水武岩非)

ため、数量のみでは傾向は 漁家が多くなっていること 外被用労賃収入の増加した のとおりである。 年対比戸数の状況は、 等を無視したところの、 て魚種の組成割合が異なる とらえ難いが、概して生産 漁村では「生活はさっぱりよくならない」「いや以前に比べれば 家計費の増加傾向も注目 ことで目立つのは、 経営規模とか、漁業種類 漁獲数量は、 よくなってきた」などさまざまなことが聞かされる。このようなこ 沿岸漁家経済の とは地域によってまた、漁家ごとによってかなり差異があると思 われるので、一概に結論を断定することには困難をともなう。 一般的な動向とし」されねばならない。 かしながら、一つの傾向として、漁家の様相はどのようになって いるかの目安として、これを統計的に、当所が実施している、 下の漁業経済調査の結果から、四〇年と四一年の継続記帳漁家の 漁家によっ 動きを紹介すればつぎのとおりである。 1 表 ùÚ とえ、 |と租税公課を差引いた経済 一とおりである。 向について 思われる。 り向上されたものであると |ることがみうけられる。た |家は漸次少なくななってい っている。 が、それぞれほぼ同じとな の余剰も増加、減少の戸数 近年 つぎに、 主要項目の数値は2表の 漁家の所得から、 家計面において、 赤字の漁家があって 動向につい 経済介刺の赤字漁 農林省兵庫統計調查事務所 収入の増加は、魚価の上昇 一階層では増加が示される。 一階層では減少を示し、上位 一り九〇円であったものが、 をみると、四〇年にゆあた とにほかならない。因みに その向上があらわれていな の生産性)は、下位階層は な変動はみられない。 入は増加がみられる。この 漁獀魚種をプールした単価 によって文えられているこ 出漁あたりの漁獲量(労働 漁獲数量において、 まで、出漁の回数は大き しかしながら、 県 漁業の収 ている。 1表 40年41年継続戸数の状況 単位: 戸数 の専業は極めて少なくなっ とんどの漁家が漁業外被用 下位階層が顕著であり、 している。 に労働投下していて、漁業 四一年では一二五円と上昇 漁業の支出経費も、 被用労賃収入の増加も、

	出漁	漁獲量	漁業 所得	労賃 収入	経済 余剰	家計費	預貯金	借入公
前年より増加	5	9	10	12	10	15	11	6
前 年 號	6	3	1	4	2	2	2	10
前年より減少	10	9	10	5	9	4	8	5

の値上り、 は近年とくに強い。 であって、このような傾向 ろん、衣服費および住居費 立つものは、飲食費はもち であれば何よりである。 るならば、生活の程度は向 られなかった。 六二%前後、上位階層で四 なく、自主的計画性の家計 あたりの家計費におくとす たりの家計費も上昇してい 四%程度)大きな変動はみ 年並の程度で(下位階層で あり、漁業収入の増加に平 の影響をうけて増加傾向が て、四〇年、四一年とも、 質ブームに幻惑されること 上しつつあるとみなければ ケル系数よりむしろ、 した所得率は、おおむね前 家計費は漁業所得に対し 家計費のうち、増加の目 生活水準の指標を、 家計費総額や、世帯員あ 漁業所得を漁業収入で除 「消費は美徳なり」の消 雇用労貨上昇等|ている。

2 表		主	要	項	且	の	比	較			:額百円	
階 層	年度	継続	出漁	漁獲 量kg	漁業 収入	漁業 支出	労賃 収入	漁業 所得	家計費	経済 余剰	預貯金	借入金
無動力 0~3少	40	14	155	10,005	9,152	3,237	2,204	5,915	7,449	1,530	4,470	611
0~3,5	41	14	160	7,755	9,833	3,809	3,021	6,024	8,486	1,656	5,930	1,321
3 ~ 5 √	40	7	124	16,617	13,992	7,797	2,636	6,195	11,226	1,120	15,153	1,626
	41	7	117	18,797	15,301	8,497	2,643	6,804	11,628	2,865	18,708	1,040
注・預貯金	,借入。	企は年度	[末在清	5								

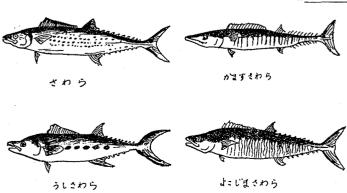
3 表	家	B	ŀ	赀	H	位:百円
階 周	年度	家計費	うち 飲食費	うち 被服費	うち 住居費	1人あた り家計費
無 動 力	40	7,449	2,736	941	789	1,391
√ 3 ب	41	8, 86	3,024	1,009	1,141	1,702
3 ~ 5 √	40	11,226	3,425	943	685	1,850
0 0	41	11,628	3,480	1,019	806	1,880

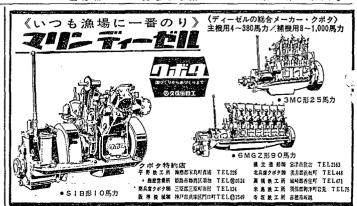
が困難であるとともに、 いることは、 れているほか、経済の余剰 入の増加を図っているとも が漁業外に従事し、その収 員はもちろん、 獲の不安と相まって、 では、 ふところ具合がよくなって 預貯金額は、 よろこばしい 増加が示さ 世帯主まで ぜかなうこと ifa

このことは漁業所得のみ

費でなく資産の取得として は 般的にみて停滞状態といっ て、老令化、雇用の困難、 生産の横ばいの中にあっ あると思われる。 くなってきた一つの証左で みられることは、 いる)とか、自家用車、 調査上の約束として、 あって、住居の新築改装(地域の一部 漁家 にあって てよいのではなかろうか。 果では、資料が不充分であ 示される漁家の比較的多い のうち「前年より減少」に ことを見のがしてはならな っている漁家もかなりある いと思う。これは前述1表 の再生産をかろうじて行な 老朽船等に甘んじて、 房機等かなり高額な支出が ことでもわかる。 僅かの継続調査戸数の結 しかしながらこの半面、 相当額の収入の影響も 沿岸漁業経済は、 生活がよ 漁業 全

ことである。 漁業補償関係





第三種郵便物認可

いは恐り、あるいはわめい のエコヒイキや不満にある一

スになっては、かえってせ

したことによってマイナ

4

業務意欲

どうか。 の精神的責任度は

、研究心あり、業

十代三人、三十代一人、廿十代一人、五十代一人、四

務に積極的である | 代二人の男と、六十代、四

十代、三十代各一人の女と

は、まとまった伝統もない い者、弱い者の混成部隊で | は、

7

やはりこんな評定が

いささかの改訂はあっしとなく、

臨機応変性に富み

いたのを覚えている。 ているのを人ごとならず聞

認められなかった人が悪

|は、これについての知識を |ぬ方がましで、してよかっ

であり、

よい、普通、や

いう年令階層が非常に異る | ままに、これを一つの最大

一必要になってくるだろう。

ルでゆこう。

よいものはよく、悪いも

たハシケにこみ乗った人々 ると、目の下に下がって来 の外を見るともなく見てい は虎口をのがれた思いで窓 こすぞ」と冷笑と指てぜり

ョールを頭からかぶり一層 の間に矢緋の少女が白いシ オロナミンのコマーシャ

正確をモットーに

ふを投げて出て行った。私

の少女を他の二 に尻ごみするこ いていた。むづ 限を視線も定ま ようにおびえた 顔付で、小羊の しいあどけない しているが、ま

らず大きく見開

か。

たという結果が出るために

が間違っていたのか、そん | 社でベテランの人事課長で

たまにさそわれて縄ののう 必要もなかったが、今でも な詮談はするすべもなく、 いのか、認めてやらない方

> ものをと、考課制度につい さえ陰でとやかく言われる一 充分身につけねば、一流会

ての作い先生の本をいろい。国会にかける前にみんなに、の写い

表を作って、さて、みんな ゝ劣るの三点にわけて採点|

から文句の出ないため、役

でなかった者と、勤務年数 かった単協出身者と、そう 職員と、かなり待遇面でよ

事だが、やがて合併して大 |公約数にまとめあげるに

世帯になったあかっきに は、なかなか根気のいる仕

るさいからとて屈伏すると

かたよることなく、口う

きるぼくになりたい のはあくまで悪いと主張で

なげてはいけない。

そのためにもここで匙を

浅い者

気の敵

治いのがひたいをよせ、召

すままに酔うままに、上役

する。

で、二人三人、勤め帰りの

|重を期さないと、自尊心を

の資料で、慎重の上にも慎

果すべき責任度と

遂行上に当って

職務内容によって

| 傷つけモラルに大きく影響

居酒屋の片隅でチビリチビ

あの頃がなつかしい。 心の要さの捨て ど こ ろ

まらなかったぼくは、一人 れんをくぐらわば気のおさ

| 員会から職員の勤務評定を

役

間違いなく、

能率

| せよとのお達しをうけた以 いことはないと思うが、 たり、人が人の能力を査定

上せぬわけには参らない。

責任の度合い

るか。 的に仕事をしてい

勤務評定はイコール昇給

大阪に行くと、安酒屋のの つらつであった頃、神戸や ーシャルのように、元気は

したりすること程むづかし

2

Œ

確度

ているか。 勤勉で忠実に働い まだまだオロナミンのコマ 頭の毛も、皮膚のつやも、

るのに気づく。 じことが繰り返えされてい

全くもって人が人を裁い

十年一昔というけれど、

一んをくぐると、今も昔と同

作ってみたのが、

精勤度

出動状態がよく、

を、どう評定すべきかを、

ここの組織にあったように

は

か

る

うに急ぎ 飛び去っのだっ まるで蜘蛛の子が散ったよ

下漁協水揚高六〇億円の六

漁業自賄の資金として県

十%強の漁協貯審三七億円!

ろ読んでみた。

動の秘策を胸に画きつつ、 蓄推進員は今後三カ年の運 当日出席の全国都道府県貯 協貯密推進大会で万雷のご これが去る三月十五日東京 き今後三カ年二、〇〇〇億 て見事に完遂を見るにいた

一、運動の趣旨

る。

することになった次第であ

水

その余勢を駆って引続

門の目標は打ち立てられ、

員に参集を求めて今後三カ

も倍増

私は自分のことと共に機一ら行儀よくすわってあいさし

風 来

漁

人

農協ビルで開かれた全国漁

|達成けつ起大会を開いて左 年兵庫県漁協貯器三七億円 | 業実施の四十二漁協の推進

|記事項を可決し、覚悟を新

に目標額達成に向って突撃

とき拍手の裡に可決され、

わが兵庫県漁協の戦略戦実について 全国漁協貯蓄二、〇〇〇億円達成のため 兵庫県信用漁業協同組合連合会

> 億円達成兵庫県運動 二、運動の名称 を目標とする。

全国漁協貯蓄二、000

(2) 水揚代金の貯金振替 (1) 信用事業末整備組合

(4) 漁業外収入の吸収 統外流出防止

の経営改善

の実施

思い

出の

記

(22)

緋

415 大 津 長

漁協貯蓄は三カ月を短縮し り三ヵ年一、〇〇〇億円の 協の担当者に周知するの必 いち早くこのことを県下漁 わが兵庫県にあっても、 治

|戸の水産会館に県下信用事 |要上、早くも三月三十日神 四、運動のスローガン 三、運動期間 (2) しあわせ倍増・貯蓄 (1) 漁家所得の一年分以 昭和四十二年四月一日よ 上を漁協貯蓄へ り昭和四十五年三月三十 一日まで

五、達成目標額 (1) 昭和四十五年三月三 (2) 年次目標額 昭和四十三年度三四億円昭和四十二年度三一億円 十一日 目標額三七億円 昭和四十四年度三七億円 が、こんな女遊びに加わら いる兄のことを 心配 した 関室で機械の手入れをして | つなどできぬから取引開始 |

六、推進方策 策定するが左記事項を重 各年度の推進計画は毎年

点とする。

まみれている兄を呼び出そ も認めているようで、油に ない見であることを乗組員

うとする者はいなかった。 かますように突撃した。そ った。せまい室内であるか して男の膝にくつっいて座 女たちは相手の男にぶち

一択のゆとりはあるらしく男 女達はそのカンによって撰 にすがりついたようでも彼 **寝台の上へとび上がってあ** れて私は自分の居間である しい。女の洪水から身を逃 の直接行動というところら

きれて眺めていた。無雑作

できた。 かを秩序的に判定する手続 だそうで、職員のどの部面 どれだけ価値をもっている る人間がその組織に対して| 定義的には組織に所属す 一会に提出した。 して納得してもらって役員 なると思い一人一人に説明 ザコザが起り、こと面倒に 了解を得なければ、後でイ

集ってもらって、人事考課 ほどしてある職員から、 胸をなでおろしたが、半日 め次に備えねばと、いろい 採点表についての意見を継 れはいけないと早速全員に た職員がおるとのこと。こ れから一、二人態度の変っ まずはよかったと安堵の

たものの、七十代一人、六 的な抵抗が次々起ることは 造してゆく前途には、 めてもらいたいとのこと。 方には異論はないが、あれ 前もって心に準備はしてい うことは面白くないので改 ろ聞いて見たら、評定のし は何点でかれは何点だとい 一つのことを改革し、創

小ダコは海へ返そ う

水温の上昇とともに、底曳網などに小ダコの入網数がやや目立っている。 せっかく人網した獲物ではあるが、 100g程度の大きさのものでは価格も知 れている。

昭和38年の異常冷水では大量にへい死した。しかし放流の効果もあ 獲量も上向いていたが、昨年は例年量(県下3,300ton)の半分となり、 この原因は海況(低塩分によ 播磨灘中部以北では大巾に減量した。 コの成長は夏に 小ダコ時代の漁獲も見のがせない。 タ 昨年の稚ダコの発生量は例年以下と思われるので, 月の小ダコは大事にしなければならない。

小ダコはすぐに海に返そう。

兵庫県漁業調整規則第36条(体長等の制限)の項に、まだこについては「体重

が、そして桃割

れの髮を結い上

の方はあなた任せでとの女一である。それはあまりにも | み声で歌ってご満悦のてい 一出船を二そうとめた」とだ 江女郎衆は鑑か網かけさも 一獣すれば、甲板長は「木之 山の占だぬき」と女神を礼 てうちのかか見れば干里奥 一ように「木之江で女郎買う 慢の船長はこれに唱和する 一が、何ともわびしい。声自 と気分もり上げにつとめる は花一夜添うても妻は妻」 り上げて「一輪咲いても花 さわしい、しやがれ声をは たフクトは荒んだ身体にふ 一師がタラの尾でもつかんだ れて座っていた。 |いりそびれたようにうなだ |の着物を着た若い女が、は けた。そこには緑色の矢緋 といって入口の戸を引きあ |は頓狂な声を上げた。 |を眺めていた。突然フクト | 憮然として窓外のあらぬ方 | 海の男の正体を見たようで |々しく叫んで立ち上がり漁 が、うっかりしとったよし 「とん子何しとるのよ」荒 「アラアラ私としたこと ように手荒く若 た。

前のムコさんが こそ、大人だ 緋の女はからだ 台の上へその女 の座っている寝 か」といって私 待つとるやない て引っぱりとん とした。この矢 を押し上げよう だ。そして「お い女の手を握っ |長がすかさず私に呼びかけ 台をすべり降りると、甲板 て、今夜の宿へと上陸すべ |ヨンガーの 飯 た きを残し た。「さあ行こや、ええ何 揚々たるものだ。少女が寝 ムコさんを捕虜にして意気 行く、女達はめいめい良き く笑いさざめきながら出て 々は、私たち兄弟と朝鮮チ はやし立てた。茶碗酒の一 杯に早くも意気投合した面 「よお、ええ一対やぞお」 「今日の花形役者!」と

かる幼児のよう げて薄く化粧も |て引っ張った。私は一大事 くなに動かぬ私の腕をとっ |ええやつぢや」 そしてかた こんなええ相手に当たると |と、つきあいするもんや、 軽べつをこめて たらしく白けた表情になり |見つめていたが、あきらめ |られて、しばらく私の顔を いた甲板長は、あっけにと 振り切った。その見慕に驚 というように力一杯それを はお前も僧たらしい位運の やと、野暮なこといわん 「フゝゝゝ、お前は金の

だほんの子供ら

(3)目的貯金の活用と系 | 神たちの天下りを 歓 迎 し だ娘子軍の隊長フクトは目 た。目の小さい頬のたるん に一こん頂こうやないの」 ざとく炊事場の棚にある酒 といって気軽く取り持ちを 瓶を見つけると「お目見え はじめた。茶碗酒をあおっ かない。私が尊敬とあるが 一ばかるような不快なものし そうになく反対に正視をは |あわただしくアレヨという||三人の女が応援して胴上げ いえば大げさだが好ましい れをさえ抱いた海の英雄と 情緒も男女の愛情も生まれ ちないことはそこに遊びの 間に進んで行った。腑に落 一膝の上へどさりと投げ上げ た。フクトはわめいた。 するように抱き上げて私の

恐怖にかられたように私の |見上げてわっ と どよめい た。船室内の人々は二人を |りなおした。私も少女に劣 |膝からとびのいて向うむき |度を矢った。少女はほべた 伝わったので私はすっかり らず 赤 く なってうろたえ になり前をかき合わせて座 |物越しに私の胸から全身に 瞬間ポチャリと、つきたて | 味悪い笑いを送った。その の初見世ぢやょ」そして気 から耳たぶまで真赤になり の餅のような柔い感触が着 「そら兄ちゃん、正札付

> ありありと艷めいてきし腐映す 遠い声青くシーツに光る夜

|主人から自分一人客を拾っ Ш 柳 皮肉いうときの女の顔が冴え 気にしてる髪を男の手が直し 想い果てず闇の中なる椅子に倚り 燃えつきしやすらぎにある自己嫌悪 わが影にためらいひそと灯を消しぬ

|更ながらわが身の不遇を数 | 私は暮れなづむ港内に遠ざ |て来なかったことを責めら| 一いてか、宿に帰って強慾な一 ているとしか見えない。今 頭が動くのは泣きじゃくっ 一った。時々コクリコクリと 深くうなだれている姿があ|れるのを恐れてか、それと たことが悲しかつたのか。 らあまりにもつれなくされ いつまでも見送っていた。 かってゆく白いショールを も初めての出逢いの人なが

生命鳴る微笑をこめてさようなら コーヒーを沸かす女の衿ふかし

Ì

助 助 JII

そのあとを云わずに炎えし春の罠 くちづけになれぬ女に靄ふかし 蒸しタオル女とおなじものをとり 客られる方で天婦羅言いにくし 天婦羅が好きで女にも達者 約束の日は秘められて帯をしめ 約束の電話のそばに母がいる 逢いにゆく証拠に爪を切っている **逢わぬ日の胸まで映す鏡拭く** 梅雨はげしそこはかとなくひとを恋い

市場を直結 す 800馬力 12 馬力 NT585 4馬力 20馬カ 3 T <本 社> 大 股 市 北 区 茶 屋 町 62 番 地 札幌・旭川・仙台・東京・金沢・大阪・周山・広島・高松・枞岡・大分 ヤンマーディーセル株式会社・